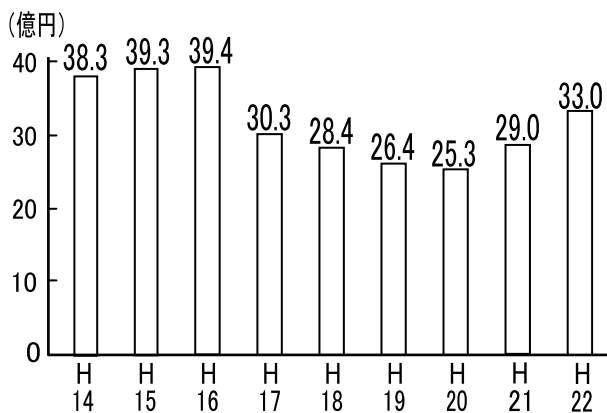


6月議会開会

市の財政 - 平成22年度も黒字

積立金も4億円増で33億円に

積立金(基金)残額の推移(単位:億円)



積立金を貯め込むより、市民のくらし・福祉に使うべきでは?

6月6日からはじまった6月市議会で、平成22年度の決算見込みも昨年につづいて黒字になることが明らかとなりました。

H22年度の補正予算で積立金が1億5千万円計上されました。さらに、最終的には約2億円の黒字になると予測されています。

積立金は、昨年より4億円増えて、33億円となります。昨年9月より「ゆゆうバ

ス」が3台から2台に削減されましたが、年間900万円を支出すれば3台の継続ができました。

今年4月から「交通専従員、学校警備員が廃止」されましたが、年間2420万円を支出すれば廃止しなくても済みそうです。

積立金を増やすことにより、市民の暮らし・福祉の充実・子育て支援こそ必要ではないでしょうか。

かたの民報

議会版

2011年6月12日
NO. 1530

【発行】
日本共産党
市会議員団

ご相談は市役所
議員団控室へ

私部1-1-1
☎892-0121
(内線301)

6月議会の日程

月	日	曜	議会日程
6	6	月	本会議(議案上程)
	10	金	常任委員会
	13	月	常任委員会(予備日)
	15	水	議会運営委員会 (意見書の取り扱い)
	20	月	一般質問
	21	火	一般質問
	22	水	一般質問
	23	木	本会議(予備日)
	24	金	本会議(委員長報告・採決)

※日本共産党の一般質問は6月20日(月)午前10時からの予定です。ぜひ傍聴にお越しください。

弁護士相談

☆日時 6月16日(木)
午後3時~5時

☆場所 交野市役所 3階
(日本共産党議員団控室)

順番等がありますので事前にお電話ください。
☎892-0121(内線301)

日本共産党 6月議会に意見書を提出

原発からの撤退を求める意見書(案)

福島第一原子力発電所の事故は、原発の危険性を国民の前に事実をもって明らかにしました。

現在の原発の技術は本質的に未完成で、きわめて危険なものです。原発はばく大な放射性物質(死の灰)をかかえています。それをどんな事態がおきても閉じ込めておく完全な技術は存在しません。そして、ひとたび大量の放射性物質が放出されれば、被害は深刻かつ広範囲で、将来にわたっても影響を及ぼします。

そうした原発を、世界有数の地震・津波国であるわが国に、集中的に建設することは危険きわまりないことです。日本に立地している原発で、大地震・津波にみまわれる可能性がないと断言できるものは一つもありません。

歴代政府が、「安全神話」にしがみつき、繰り返しの警告を無視して安全対策をとらなかったことが、どんなに深刻な結果をもたらすかも明瞭となりました。

以上をふまえて、日本政府が原発からの撤退を決断し、原発をゼロにする期限を決めたプログラムをつくることを求めます。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。



中上 さち子
倉治 6-17-13
☎893-6785



さかの 光雄
私部 1-38-23
☎893-1083



さらがい ふみ
星田 7-44-21
☎894-2835